

1 指導体制

顧問氏名	
主顧問	加藤 聰生
副顧問	高橋 佳裕
副顧問	山本 純久
副顧問	篠浦 辰徳

外部指導員氏名	資格等や経験
鎌田 春樹	クラブチームヘッドコーチ

2 年間目標

(1)学校の教育目標を受けた目指す生徒像	他者の立場と気持ちを理解した上で、他者と協働で課題解決に向けて取り組むことができる生徒。
(2)競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	高体連が主催する公式戦において2日目進出を目指す。都立高大会ベスト64を目指す。
(3)地域貢献等の特色ある目標	近隣中学校を招待しての合同練習や練習試合を実施すること。地域のバレー部チームとの練習試合の敢行。

3 指導方針

(1)技術や技能、体力の向上	基礎練習をしっかりと行った上で、スパイク、カット、サーブの3点を基軸として、チームワークに富んだプレーができる選手を育てる。
(2)公式戦や発表会への積極的な参加	高体連主催の公式戦および夏と冬の都立高大会への参加。
(3)他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	月に3回程度の練習試合を実施する。 本校に3~4校招いての合同練習試合も実施する。
(4)部加入率の維持、増加	令和4年度は選手5名、マネージャー2名の入部に対し、令和5年度は選手11名、マネージャー4名が入部している。

4 指導内容・方法

(1)体罰・暴言等のない指導	都の実施する研修を外部指導員にも受講してもらい、体罰・暴言の絶対根絶を図る。
(2)生徒間の暴力禁止	日頃の指導からスポーツにおいて暴力行為は根絶されべきと指導している。
(3)外部指導員の活用	技術指導に重きをおいて、協力体制を整えている。
(4)事故防止・安全配慮	部員間で声を掛け合い、練習前の柔軟などで常に事故防止を心掛けている。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	関東大会予選
	5	OBOG 交流会
	6	インターハイ予選
	7	夏合宿
	8	全日本一次予選大会 都立高大会 (夏)
2 学 期	9	
	10	
	11	新人戦 OBOG 交流会
	12	
3 学 期	1	
	2	都立高大会 (冬)
	3	

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所	体育館		体育館			体育館	体育館

7 公式戦・大会等の実績

インターハイ予選大会東京都ベスト4 8